

第 31 回佐久新校再編実施計画懇話会

日時：令和 8 年 7 月 24 日（金）
午後 6 時から午後 7 時 30 分
会場：長野県佐久合同庁舎講堂

<次 第>

1 開 会

2 挨 拶

3 新規構成員紹介

4 会議事項

（１）第 30 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

（２）学びのイメージについて

（３）プロジェクト K（校名・校歌・校章）について

- ・アドバイザーについて
- ・生徒会企画の報告
- ・校名募集要項について

（４）施設整備について

（５）その他

- ・施設整備説明会について

5 その他

第 32 回佐久新校再編実施計画懇話会について

【日時】10 月頃の開催で調整中

【会場】現在調整中

6 閉 会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

（目的）

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」（以下、「懇話会」という。）を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

（会議事項）

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- （1）学校像、教育方針等に関する事
- （2）校地・施設・設備等に関する事
- （3）管理運営等に関する事
- （4）教育内容等に関する事
- （5）その他、県教育委員会が必要と認める事項に関する事

（構成員）

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者（校長、教職員等）、地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

（開催期間）

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

佐久新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

◎ = 座長 ○ = 新構成員

	区分	氏名	所属等
1	自治体	畠山 啓二	佐久市 副市長
2		神津 長生	佐久市教育委員会 教育長
3		山浦 みつ子	南佐久郡町村教育委員会連絡協議会 会長
4	産業界	坂川 和志	佐久商工会議所 副会頭
5		渡辺 仁	佐久総合病院 統括院長
6		白鳥 敬日瑚	マイクロストーン株式会社 代表取締役社長
7	学識経験者	坂江 千寿子	佐久大学 学長
8	地域	廣末 恵子	社会医療法人恵仁会 医師
9		滝沢 裕之	佐久地域振興局 局長
10		◎吉岡 道明	佐久市教育委員会 前教育長（座長）
11	同窓会	吉岡 徹	野沢北高等学校同窓会 会長
12		長田 芳子	野沢南高等学校同窓会 会長
13	PTA	○大塚 幸恵	野沢北高等学校 P T A 副会長
14		○佐藤 久美子	野沢南高等学校 P T A 会長
15		山崎 由香	全佐久 P T A 連合会 顧問
16	学校関係者	堀籠 英和	佐久中学校長会 会長
17		○石川 政好	佐久小学校長会 会長
18	再編対象校	酒井 宗路	野沢北高等学校 生徒会長
19		小林 颯介	野沢北高等学校 生徒会副会長
20		今村 奏音	野沢北高等学校 生徒会副会長
21		中沢 美羽	野沢南高等学校 生徒会長
22		水澤 琉生	野沢南高等学校 生徒会副会長
23		武田 倅奈	野沢南高等学校 生徒会副会長
24		柳沢 敬	野沢北高等学校 校長
25		赤羽根 弦	野沢北高等学校 教諭
26		原 多恵子	野沢南高等学校 校長
27		齋藤 桂似郎	野沢南高等学校 教諭

事務局

野沢北高等学校		野沢南高等学校		高校再編推進室	
大池 裕達	(教頭)・事務局長	篠原 豪	(全・教頭)・副事務局長	柳沢 勝美	主幹指導主事
赤羽根 弦		篠原 俊介	(定・教頭)	土橋 邦彦	主任指導主事 (佐久新校担当)
澤田 浩文		齋藤桂似郎		竹前 操	主任指導主事 (佐久新校副担当)
齋藤 恭兵		阿藤 正彦		貝野 宗司	主事 (佐久新校担当)
三石 達也		小須田勝夫		学びの改革支援課	
松本 英知		森泉 美空		駒込清太郎	指導主事 (佐久新校担当)

第 30 回 佐久新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日 時	令和 8 年 (2026 年) 5 月 22 日 (金) 18 時 00 分～19 時 45 分
場 所	長野県佐久合同庁舎 講堂
出 席 (敬称略)	吉岡道明、畠山啓二 (代理 市村志郎)、神津長生、山浦みつ子、坂川和志、渡辺 仁、 坂江千寿子、廣末恵子、滝沢裕之、吉岡 徹、長田芳子、後小路正人、小林京子、山崎由香、 堀籠英和、酒井宗路、今村奏音、水澤琉生、柳沢 敬、赤羽根弦、原多恵子、齋藤桂似郎 以上 22 名
傍聴者	19 名
事務局	野 沢 北 高 校：大池教頭 (事務局長)、齋藤教諭、三石教諭、松本教諭 野 沢 南 高 校：篠原(豪)教頭 (副事務局長)、篠原(俊)教頭、阿藤教諭、森泉教諭 県教育委員会：井出室長、柳沢主幹指導主事、土橋主任指導主事、竹前主任指導主事
当日資料	次第、第 29 回懇話会まとめ、学びのイメージについて、 プロジェクト K (校名・校歌・校章) について

会議事項

- (1) 第 29 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 学びのイメージについて
- (3) プロジェクト K (校名・校歌・校章) について
- (4) その他

主な内容(要旨)

⇒高校再編推進室回答

→ワーキンググループ回答

- (1) 第 29 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

事務局から説明。

【質疑・意見】 なし

- (2) 学びのイメージについて

野沢北高等学校スーパーサイエンスハイスクール採択について柳沢校長より報告。

全日制・定時制の学びのイメージについて懇話会事務局から説明。

【質疑・意見】 なし

(座長からの要望)

・ 学びのイメージについて、現状の資料では中学校の教員や生徒にとって分かりにくい内容となっているため、誰に対して示す資料であるかを意識し、対象に応じて分かりやすく伝わるよう工夫した資料の作成をお願いしたい。

→ 学びのイメージについて、懇話会におけるこれまでのご意見を踏まえ、県教育委員会において内容の修正を行う。また、修正後のイメージをもとに、小中学生や保護者、地域住民に向けた分かりやすい資料を作成し、懇話会において共有していく。

- (3) プロジェクト K (校名・校歌・校章) について

プロジェクト K について再編推進室より再度説明。

アドバイザーについてワーキンググループより報告。

○ 川口典孝氏 (株式会社コミックス・ウェブ・フィルム代表取締役会長、新海誠監督所属事務所)

- ・ 新海誠監督をデビュー当初から支えてきたアニメーションプロデューサー
- ・ 日本のアニメ・映画業界を長年牽引してきた実績を有する
- ・ 佐久市中込駅近隣の映画館整備事業へ中核的に関与し、地域と深い関りを持っている
- ・ 野沢北高校の探究活動に関わるほか、今年度からは野沢南高校の探究活動にも協力してもらう
- ・ 新海誠監督の価値観へ深い理解を有し、またご自身の知見や視点に基づく助言が期待される
- ・ ワーキンググループにおいて、専門的かつ俯瞰的な立場から助言を行う役割
- ・ 県教育委員会で委嘱に係る必要な手続きを行った後、正式に就任

【質疑・意見】

- ・ 口頭ではなく、紙面による紹介をお願いしたい。またアドバイザーの担う役割について確認したい。

- ・アドバイザーに懇話会へお越しいただき、ご挨拶をいただきたい。
- 委嘱を行い、正式にご就任いただいたうえで、改めて紹介する。担う役割は、様々なケースがあると思うが、ワーキンググループにおいて何かを立案する際にアドバイスをいただくことを想定している。
- ・アドバイザーが学びのイメージのパンフレットのデザイン等に関わることはあるのか。
- ⇒パンフレットの作成は、外部に委託して作成するため、現段階ではアドバイザーの方をお願いすることは考えていない。

校名・校歌・校章作成のためのコンセプトについてワーキンググループより説明。

- 全体を支える共通の土台となる視点を持つことで一体感を生み出すことができる。
- 学びのイメージにある「夢のある平和で豊かな未来を共創する知の探究校」を大きな柱とし、視点として「深い学び」「多様な活動」「雄大な自然、歴史や伝統に根ざした文化」と考えた。

【質疑・意見】

- ・このような考え方で良い。ただ、「雄大な自然」と「歴史や伝統に根ざした文化」の視点は分けて示した方が良い。
- ・二つの学校が一つとなり新しい学校になるという未来志向の表現が加わると良い。未来の子どもたちにつながるようなアプローチができることを望む。
- ・両校が培ってきた歴史や伝統も感じられる校名・校歌・校章になると良い。
- ・これまで両校で目指してきたものや、この佐久地域という要素が入ると良い。
- ・校名募集を行う際には、新校の目指す学校像が一目でわかるような資料を添付する必要があると思うがいかがか。
- ⇒小中学生やその保護者、また地域住民の皆さんが新校についてイメージできる資料を学びのイメージを基に作成する。
- ・校歌・校章に、両校を感じられる要素が少しでも盛り込まれていると、「繋がり」という意識を持つことができるのではないか。
- ・文化祭企画において、コンセプトをどのように活用すべきか。
- ⇒ワーキンググループで検討し、方針を示す。

(4) その他

除却工事に向けた学校の現状と課題について、野沢北高等学校より説明。

- 体育施設の代替場所の確保について
- 物品等の引っ越しについて
- 教育課程等、新校の新しい学びの検討状況について

【意見】

- ・学校現場の職員の負担は相当なものであり、体育施設の代替場所や教育課程の編成において、県教育委員会の協力が必要。

(座長からの要望)

- ・学校現場には、通常の業務や教育活動に加え、新校に向けた準備等で多大な負担をお願いしている。県教育委員会には、行政的な立場からぜひ援助をお願いしたい。
- ⇒県教育委員会として、学校現場の負担が少しでも軽減できるよう検討を進めている。たとえば、今後引越し業務が繰り返されるが、その都度予算付けを行い専門業者に委託し、学校現場の生徒や職員が行うことは考えていない。また、体育施設の代替場所についても必要施設や使用時期等詳細を学校と整理したうえで関係機関と調整していく。私どもも新校に向け学校現場と情報共有を密にしながら、学校任せではなく共に進めていく。

その他

【次回】第31回懇話会

日程：7月下旬から9月上旬の開催に向け調整中

会場：調整中

夢のある平和で豊かな未来を共創する「知」の探究校

- 高い志で夢のある未来を実現し、地域・日本・世界に貢献
- 基礎学力を蓄え、新時代を切り拓く「創造力」と「探究心」を獲得
- 他者と協働し、多様な価値観を共有することで育む、豊かな人間性

【グローバルな視野で自らの未来をデザインする新しい進学校】

難関大学や医学部、国公立・私立大学および海外大学進学や資格取得等
生徒が目指す、多様な“第一志望”を実現



SSH を生かした先端科学の教育プログラム

浅間山や宇宙を教材に、地域とともに探究心を楽しむ学び



- ◇ STEAM 教育を取り入れた多角的視点と学力を醸成する授業
 - ◇ 大学・研究期間・企業・自治体等と協働した探究・研究活動
 - ◇ 進路実現に向け主体的に科目選択できる「進学重視型単位制」
 - ◇ アカデミックサポーター（OB・OG）と連携した進学指導の充実
 - ◇ 実りある、充実した高校生活の実現
- 【諸行事、生徒会活動、部活動、海外研修、研究大会参加】



<理数科発展> 学術を深く学ぶ学科

【設置学科】 (名称未定)

<普通科発展> 地域を共創する学科



- ◇ 確かな根拠に基づく真理の追究
- ◇ 専門性を高める学校内外での研究を通じ、平和で豊かな世界に貢献



- ◇ 正解のない問いを粘り強く追究
- ◇ 地域の未来を共創する実践を通じ、平和で豊かな世界に貢献

【佐久エリア共学共創コンソーシアム：学びを支える地域のコミュニティ】



地元企業



研究機関



大学



医療機関



自治体

- **STEAM**：Science・Technology・Engineering・Arts・Mathematics の5分野を総合的に繋いだ学び
- **SSH (スーパーサイエンスハイスクール)**：文部科学省が将来の科学技術系リーダー育成を目的に、理数教育の強化、探究活動の充実、国際性の推進などを目指し指定した高校

夢のある平和で豊かな未来を共創する「知」の探究校

- 高い志で夢のある未来を実現し、地域・日本・世界に貢献
- 基礎学力を蓄え、新時代を切り拓く「創造力」と「探究心」を獲得
- 他者と協働し、多様な価値観を共有することで育む、豊かな人間性

【グローバルな視野で自らの未来をデザインする新しい進学校】

難関大学や医学部、国公立・私立大学および海外大学進学や資格取得等
多様な“第一志望”を実現

○○○○○○科
 (理数科)

【設置学科】
 (名称未定)

○○○○○○科
 (普通科)



- ◇確かな根拠に基づく真理の追究
- ◇専門性を高める学校内外での研究を通じ、平和で豊かな世界に貢献



- ◇正解のない問いを粘り強く追究
- ◇地域の未来を共創する実践を通じ、平和で豊かな世界に貢献

SSH
 Super Science High school

SSHを生かした先端科学の教育プログラム

浅間山や宇宙を教材に、地域とともに探究心を楽しむ学び



- ◇STEAM教育を取り入れた多角的視点と学力を醸成する授業
- ◇リベラルアーツ型の学びを重視した主体的・協働的な取組
- ◇大学・研究期間・企業・自治体等と協働した探究・研究活動
- ◇進路実現に向け主体的に科目選択できる「進学重視型単位制」
- ◇アカデミックサポーター（OB・OG）と連携した進学指導の充実
- ◇実りある、充実した高校生活の実現

【諸行事、生徒会活動、部活動、海外研修、研究大会参加】



【佐久エリア共学共創コンソーシアム：学びを支える地域のコミュニティ】



地元企業



研究機関



大学



医療機関



自治体

- **STEAM**：Science・Technology・Engineering・Arts・Mathematicsの5分野を総合的に繋いだ学び
- **リベラルアーツ**：文理を融合し特定の分野に偏らず幅広い知識や教養を身につけることを目指した学問
- **SSH(スーパーサイエンスハイスクール)**：文部科学省が将来の科学技術系リーダー育成を目的に、理数教育の強化、探究活動の充実、国際性の推進などを目指し指定した高校

「なりたい自分」に出会える場所

～夢のある平和で豊かな未来を創る担い手へ～

3つの「ゆう」による学校づくり



3つの「ゆう」

友

優

結

自分もいろいろな友も大切にする

優しい心と優れた力を身に付ける

地域との結びつきを大切にする



「なりたい自分」に出会える学び

自己理解と人とのつながり
様々な取組みを通じ、自己肯定感とともに
対人スキルを高める

- ・SST*1の導入
- ・クラスや学年を超えた学校行事
- ・地域の方と協働した学び
- ・SC*2、SSW*3、学生ボランティア等のサポート など

学びの多様な選択肢
単位制や3修制により、自分の生活スタイルや興味関心に応じて選べる

- ・必要な条件がそろえば卒業可能
- ・3年間でも卒業可能
- ・幅広い学校設定教科・科目
例) SST科目、キャリアデザイン(仮称)
学び直し科目、ビジネス関連科目 など

地域との連携
地域コンソーシアム*4等を活用し、知識・
技能・探究力を身につける

- ・体験的なキャリア教育
- ・校外でのアクティブな探究活動
- ・外部講師を活用した探究の深化
- ・校外学習や校外活動の単位認定 など

- *1 SST(ソーシャルスキルトレーニング)・・・コミュニケーションや人との関わり方の学び
*2 SC(スクールカウンセラー)・・・心の悩みや学校生活の不安を相談できる専門スタッフ
*3 SSW(スクールソーシャルワーカー)・・・学校・家庭・地域をつなぎ、生活面の相談を支援するスタッフ
*4 コンソーシアム・・・学校と地域の多様な機関が協力し、学びや支援を一緒に進める仕組み

自律 基礎



仲間と協力する学校行事



自らを見つめ直す生活体験発表

経験

基礎学力

仲間との協働

SST(ソーシャルスキルトレーニング)

スパイラル構造の学び

自立 探究



なりたい自分を創造する職業探究

挑戦

発展的な探究力

社会に貢献する力

職業体験・ボランティア活動
地域コンソーシアムの活用



ボランティア活動で地域に貢献

プロジェクトK（校名・校歌・校章）アドバイザー 川口 典孝氏



氏 名 川口 典孝（かわぐち のりたか）
現 職 株式会社コミックス・ウェーブ・フィルム（CWF） 代表取締役会長
株式会社 CWF CINEMAS 代表取締役社長

人物紹介

- ・東京都出身。1969 年生まれ。
- ・1993 年に伊藤忠商事へ入社後、98 年にコミックス・ウェーブ社（旧 CW）へ出向。07 年、マネジメント・バイアウト（MBO）により独立し、CWF を設立。プロデューサーとして 25 年以上にわたり新海誠監督を支え、日本を代表するアニメーション作品の制作を牽引している。
- ・新海監督との出会いは、監督がほぼ一人でアニメーション制作に取り組んでいた時代にさかのぼる。監督の才能と情熱に惹かれ、制作・経営の両面から支援を続け、『君の名は。』『天気の子』『すずめの戸締まり』など世界的ヒット作品を世に送り出した。
- ・現在は閉館した映画館「佐久アムシネマ」に代わる新たな文化拠点の創出を目指し、佐久市中込地区に新たな映画館を建設、運営の準備を進めている。
- ・野沢北高校・野沢南高校との「探究」連携や、新海誠監督作品の図書館への書籍寄贈など、地域と文化を結ぶ活動にも力を注いでいる。

【川口さんが新海監督と生み出した作品】

- ・『雲のむこう、約束の場所』（2004 年）
- ・『秒速5センチメートル』（2007 年）
- ・『星を追う子ども』（2011 年）
- ・『言の葉の庭』（2013 年）
- ・『君の名は。』（2016 年）
- ・『天気の子』（2019 年）
- ・『すずめの戸締まり』（2022 年）

令和 11 年 4 月開校

佐久新校校名募集

佐久新校「校名」募集要項(案)

1 目 的

長野県佐久市に令和 11 年 4 月に開校する佐久新校（野沢北高等学校と野沢南高等学校の統合校）について、長野県教育委員会が進める「新たな学校づくり」に多くの皆様の参画を求めることを目的に、新校の校名を募集します。

2 募集内容

新高校の校名案（「**長野県〇〇高等学校**」とする。）

なお、応募フォームまたは所定の応募用紙にその校名とした理由を付記してください。

3 応募の留意点

以下を参考として応募してください。

【新校の概要】

- (1) 開 校 年 度：令和 11 年度（2029 年度）
- (2) 設置課程・学科：全日制 学際領域に関する学科 ※理数科・普通科に修正予定です
定時制 普通科
- (3) 募 集 学 級 数：全日制 8 学級程度、定時制 1 学級 ※開校前年度に正式決定します
- (4) 学 校 所 在 地：長野県佐久市野沢 449-2（現在の野沢北高等学校の校地）
- (5) 学 び の 特 徴：* 別紙資料をご覧ください

応募に際して以下の点にご注意ください。

- ・ 1 回の応募につき記入出来るのは 1 つの校名案とします。
- ・ 応募にかかる費用は応募者の負担とし、応募用紙の返却はおこないません。
- ・ 応募に際していただいた個人情報、校名選考以外には使用しません。
- ・ 決定された名称に関する一切の権利は、長野県教育委員会に帰属するものとします。
- ・ 現行の校名（野沢北、野沢南）は対象外とします。

4 募集期間

令和 8 年 11 月 日（ ）から令和 8 年 12 月 日（ ）まで（郵送の場合、締め切り当日の消印有効）

5 応募資格

どなたでも応募できます。

6 応募方法

以下の 2 つの方法で応募できます。

- インターネットを利用した応募・・・応募フォームから必要事項を入力してください。
- 郵送または持参・・・募集要項の最終ページにある所定の応募用紙を使用してください。

必要事項は以下のとおりです。必要事項を満たさない応募は選定の対象外としますのでご注意ください。

- ①校名案（必ずふりがなを記入してください。）
- ②その校名とした理由
- ③住所（都道府県・市町村）、電話番号、氏名（* 匿名は不可です。ご注意ください。）
団体で応募される場合は、団体名と代表者氏名を記入してください。

応募先は以下のとおりです。

【応募フォーム】

スマホなどからの応募はこちら



【郵送先】

〒385-0052 長野県佐久市原 86-1

野沢南高等学校 佐久新校校名募集担当 あて

※持参する場合は、野沢北高等学校または野沢南高等学校の事務室に届けてください。

7 校名選考の方法（4つのステップを経て進めていきます。）

【校名選考の観点】

次の①～④のうち、1つ以上が含まれていること

- ①“夢のある平和で豊かな未来を共創する「知」の探究校”という学校像
- ②新校での学びや取組
- ③両校（野沢北高等学校と野沢南高等学校）の伝統を礎とした未来への思い
- ④地域の自然や文化

①公募

多くの皆さまから広く校名を募集します。特にこれから佐久新校で学ぶ皆様（小学生や中学生）、その保護者の皆様からのご応募をお待ちしています。

②一次選考

応募された校名について、事務局で同名の有無の調査、簡易的な商標権の確認等により校名案の整理を行い、その後、懇話会の構成員による投票で、公募の中から校名候補を3～5案程度に絞り込みます。さらに懇話会構成員からの案を選考対象に加え、校名候補を5～7案程度とします。これにより、商標権等の関係で二次選考対象となる校名候補が減ってしまうことを防ぎます。

③二次選考

二次選考の対象となった校名候補に対して正式な商標権等の調査をおこないます。その結果を踏まえて懇話会構成員による二次投票をおこない、さらに意見交換をおこない、最終校名候補を2～3案程度選びます。

④校名の決定

ワーキンググループでの検討や懇話会での意見交換を踏まえ、県教育委員会で決定します。

（注）あくまでも校名案の募集であり、最も多く応募・投票があった校名が選ばれるものではありません。

8 校名の公表

令和10年3月の県教育委員会定例会で校名候補を決定し、令和10年5月に校歌・校章と同時に公表する予定です。

9 問い合わせ先

長野県教育委員会事務局高校教育課高校再編推進室まで、以下のどちらかの方法でお問い合わせください。

○電話によるお問い合わせ TEL 026-235-7452

「佐久新校の校名募集についての問い合わせ」であることをお伝えください。

○電子メールによるお問い合わせ E-mail koko-kaikaku@pref.nagano.lg.jp

件名を【佐久新校 校名募集の問い合わせ】としてください。

佐久新校 校名募集 応募用紙

①新高校の校名案 (ふりがなも記入してください。)	ながのけん 長野県	こうとうがっこう 高等学校
②その校名とした理由		
③住所・電話番号・氏名 (団体で応募する場合は、団体名と代表者氏名をご記入ください)	〒 TEL 氏名	

【応募にあたっての注意事項】

- ・あくまでも校名案の応募であり、最も多く応募があった校名が選ばれるものではありません。
- ・1回の応募につき記入できるのは1つの校名案とします。
- ・応募にかかる費用は応募者の負担とし、応募用紙の返却はおこないません。
- ・応募に際して記入いただいた個人情報は、校名選考以外には使用しません。
- ・決定された名称に関する一切の権利は、長野県教育委員会に帰属するものとします。
- ・現行の校名（野沢北、野沢南）は対象外とします。

【応募先】

・郵送の場合

長野県野沢南高等学校

〒385-0052 長野県佐久市原 86-1

野沢南高等学校 佐久新校校名募集担当 あて

・スマホなどからの応募の場合

・持参する場合

野沢北高等学校または野沢南高等学校の事務室に届けてください。

【お問い合わせ先】

長野県教育委員会事務局 高校教育課高校再編推進室

TEL 026-235-7452

E-mail koko-kaikaku@pref.nagano.lg.jp

★校名・校歌・校章を作成するためのコンセプト（概要）★

※このコンセプト（概要）をもとに、校名・校歌・校章を作成していきます。

目指す学校像

“夢のある平和で豊かな未来を共創する「知」の探究校”

視 点

- ・ 新校での学びや取組
- ・ 両校の伝統を礎とした未来の創造
- ・ 地域の自然や文化